

UAV(無人航空機)を活用した観測実証実験の参加事業者の公募における質問回答

NO	Q	A
1	実証日は予め日にちを設定して計画的に実施する認識で良いか。	災害時での撮影を予定していることから、予め日にちを設定することが困難な場合があります。 なお、テーマの条件は変更しないものの、平時での災害時を想定した観測実験に切り替え、予め日にちを設定した計画的な実施に切り替えることがあります。
2	作業計画時にいただける資料はあるか。	実災害を想定し、調査当日は基本的には電話でやり取りすることを想定しています。 こちらからは撮影したい地点の住所をお伝えし、メールもしくは電話で撮影箇所を確定し、撮影する流れになります。
3	オルソ画像は静止画か。納品期限はどのくらいを想定しているか。	オルソ画像としては静止画で想定しています。 納品期限を想定していないが、納品までの時間を測定することも今回の実験の目的の1つになります。
4	撮影場所に埼玉県職員は立ち会うか。	実災害を想定しているので、原則として職員は立ち会わない想定です。 なお、平時での災害時を想定した観測実験に切り替え、予め日にちを設定した計画的な実施に切り替えた場合は立ち会いをすることもありますので、その際は別途調整させていただきます。
5	広域における撮影では、撮影場所をどのように想定しているか。 場合によっては撮影許可等が必要になることもある。	広域における撮影は、中山間地を想定しています。
6	昨年度の実証実験で使用されていた機種は、今年度は不可といったことはあるか。	昨年度使用されていた機種でも可としています。 異なる機種というのもこちらとしては試したいところですが、昨年度と異なる場所での状況確認が可能かについても確認したいと考えています。
7	申請書に記載するDX推進というのは、どのようなことを想定しているのか。	ドローンを使った撮影からデータ転送、迅速な情報共有方法など、社内におけるドローンを使った先進技術の記載を想定しています。
8	いつ頃撮影場所が決まるのか。	災害時での撮影を予定していることから、予め場所を設定することが困難な場合があります。 なお、テーマの条件は変更しないものの、平時での災害時を想定した観測実験に切り替え、予め場所を設定した計画的な実施に切り替えた場合は、事前に場所等を調整させていただきます。
9	写真などの画質について指定があるか。	画質の指定はありません。
10	オルソ画像を作成する副産物で、3D映像等も提供できる。復旧工事の参考などに使えると思うが、提案した方がいいか。	今回の実証実験の納品としては、報告書・写真・動画・オルソ画像になるため、その他の3D映像等については必須ではありません。 災害情報を早く、正確につかむことにつながる技術や成果品については、申請書の「7. DX推進における、先進技術の活用」などでご提案ください。